東北學院時報

発行
学校法人 東北学院
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
電話 022－264－6423
FAX 022－264－6478
編集兼発行人　倉松　功
編集
法人事務局広報課
振替口座 02240-9-883

主な記事

2頁　文化祭・榴祭と学院祭、聖書のことば、訃報、法科大学院適性試験、シリーズ中高、幼稚園便り
3頁　大学オープン・キャンパス開艦、大学サマー・カレッジ報告、法科大学院説明会、大学二部定期戦　他
4頁　特別講演会(要旨)
5頁　オープンリサーチセンター、大正デモクラシーと東北学院、他
6頁　同窓会、支部・TG会、100周年記念行事案内、TG15日会案内、支部TG会案内、訃報

平成16年度 中学校・高等学校・榴ケ岡高校 生徒募集要項

東北学院の中学校と両高校の平成十六年度生徒募集要項が次のとおり決定した。

中学校

募集定員
男子生徒　一八〇名
出願資格
平成十六年三月小学校卒業予定者
願書受付期間
平成十六年一月五日から一月十四日まで
出願書類
入学志願書、出身学校長の調査書等
入学考査
期　日　一月二十九日
場　所　東北学院中学校（仙台市青葉区一番町一丁目九の一）
学力検査（国語・算数・社会・理科）ならびに個人面接
合格者発表
一月三十一日午後二時　本校に掲示します。

高等学校

◆一般入学
募集定員
男子生徒　三六〇名（推薦入学者および併設中学校進学者を含む）
出願資格
平成十六年三月中学校卒業見込みの者、および平成十五年三月中学校卒業の者（学区制によりません）
願書受付期間
平成十六年一月五日から一月十四日まで
出願書類
入学志願書、出身学校長の調査書等
入学考査
期　日　二月二日
場　所　東北学院高等学校（仙台市青葉区一番町一丁目九の一）
学力検査
国語・数学・社会・英語・理科（各五十分）
合格者発表
二月五日午後三時本校に掲示します。

◆推薦入学
募集定員
男子生徒　四十五名程度
出願資格
(1)平成十六年三月宮城県内の中学校卒業見込みの者
(2)中学二年と三年の五段階評定（九教科）の平均値が四・〇（二年と三年の五段階評定の合計が七十二）以上の者
(3)合格内示を受けた場合は必ず入学する者
(4)出身中学校長の推薦のある者
(5)一校三名以内
願書受付期間
平成十六年一月五日から一月十四日まで
出願書類
入学志願書、出身学校長の調査書および推薦書等
選考方法と期日
調査書、作文、面接による総合審査
期　日　一月十九日
場　所　東北学院高等学校
合否内示
一月二十日付けで、文書により出身中学校長ならびに志願者本人に通知します。（推薦入学不合格の場合、同じ受験票で一般入学試験を受験できます。出願書類および受験料は必要ありません）

榴ケ岡高校

◆一般入学
募集人員
男女共学　二七〇名（推薦入学生を含む）
出願資格
平成十六年三月中学校卒業見込みの生徒および卒業生（学区制によりません）
願書受付期間
平成十六年一月六日から一月九日まで
出願書類
入学志願書・受験票、出身中学校長の調査書等
入学考査
期　日　二月四日
場　所　東北学院大学泉キャンパス（仙台市泉区天神沢二丁目一の一）
試験科目
国語・数学・社会・英語・理科（各五十分）
合格発表
二月十日午後二時　東北学院榴ケ岡高等学校（仙台市泉区天神沢二丁目二の一）に掲示の予定。合格者には合格通知書を郵送します。また、中学校長には選考結果を郵送します。なお、電話・FAXでのお問い合わせには応じかねます。

◆推薦入学
募集人員（男女共学）
二七〇名のうち二〇％（五十五名）程度
推薦条件
(1)平成十六年三月中学校卒業見込みの生徒
(2)学業成績が、中学二・三年の二カ年の九教科五段階評定で、評定平均値が三・八以上であること
(3)出身中学校長の推薦
(4)合格内示を受けた生徒は必ず入学すること
願書受付期間
平成十六年一月六日から一月九日まで
出願書類
入学志願書・受験票、出身中学校長の調査書および推薦書、自己推薦書等
選考方法と期日
書類審査ならびに面接
面接日　一月二十日
場　所　東北学院榴ケ岡高等学校
合格内示
一月二十一日付けで、文書にて出身中学校長ならびに本人に連絡します。（合格内示を受けられなかった場合、一般入試受験可）
合格発表
二月十日午後二時予定

東北学院中学・高等学校 入試説明会を開催

東北学院中学・高校の平成十六年度入試説明会が、受験希望者および保護者を対象として次の通り開催される。

◇中学校
日時　十月十一日　午前十一時
場所　東北学院中学校
対象　受験希望者（男子）および保護者

◇高等学校
日時　十月二十五日　午前十一時
場所　東北学院高等学校
対象　受験希望者（男子）および保護者

東北学院中学・高等学校
☎022－227－1221

東北学院大学 連携協力に関する覚書締結式 仙台市教育委員会

平成十五年八月五日、東北学院大学と仙台市教育委員会との連携協力に関する覚書の締結式が、仙台市役所本庁舎二階第三委員会室で、教育委員会から阿部芳吉教育長、本学から倉松功大学長出席で執り行われた（**写真**：署名後、握手を交わす阿部芳吉教育長**左**と倉松学長**右**）。

仙台市教育委員会では、本市小学校教育における英語活動の充実をはじめ教育上のさまざまな課題に的確に対応するために、本学との組織的・継続的な連携を図り、また、双方の教育の充実・発展に資することを目的とし、連携協力に関する覚書に関する締結をすることになった。

ことの経緯は本年一月十六日に阿部教育長が本学に来校し、学校教育全般にわたり、特に仙台市の小学校における英語活動のサポートなどについて協力の依頼がなされ、この度、締結のはこびとなったもの。

事業内容は、①小学校の英語活動の支援②児童生徒の学校生活の支援③大学および学校における教育研究面での協力など。

具体的には、単年度の事業とし、本年は十月中旬から十二月初旬までに三～五回程度、小学校三年生以上の英語活動を対象、外国人留学生・日本人外国留学体験者などを市内四つの小学校に派遣の予定である。

大学祭日程

東北学院大学各キャンパスの大学祭日程が決まった。一般公開は次のとおり（ただし、日曜日は午後から）。

◇大学祭（文・経・法・教）
○泉キャンパス祭
10月12日(日)・13日(月)
○六軒丁祭
10月17日(金)・18日(土)・19日(日)

◇工学部祭
10月11日(土)・12日(日)

平成15年度東北学院大学 ホームカミングデー〔第4回同窓祭〕

◇日　時　10月18日(土)10時～16時
◇会　場　東北学院大学土樋キャンパス 仙台市青葉区土樋1－3－1
◇対　象　大学ならびに短期大学卒業後20年・30年・40年・50年目の方と元教職員の方々など
◇行　事
受付・開場／9時～10時
記念礼拝／10時～　ラーハウザー記念礼拝堂
記念式・学生懸賞論文表彰／10時30分～ ラーハウザー記念礼拝堂
特別講演会／11時10分～　同　上
「私の今日と東北学院大学」
高橋　長偉(昭和38文経卒)
昼食会・記念抽選会／12時15分～ 90周年記念館(1階)学生食堂

―以下のプログラムは自由参加となります。―

大学祭・諸施設見学／10時～土樋キャンパス内施設
法学部のきょうとあした／10時～ 8号館(3階)第1会議室)
司法試験公開講座受講学生表彰式／13時30分～ ラーハウザー記念礼拝堂
法科大学院進学説明会／10時～8号館(3階)第2会議室

◇問い合わせ先
〒980－8511仙台市青葉区土樋1－3－1
東北学院大学調査企画課
TEL　022－264－6424　FAX　022－264－6364
E-Mail　c.kikaku@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

史学科公開講座「それぞれの旅」

共催　高等教育ネットワーク・仙台
日時　9月27日、10月4日、11日の3回開講。午後1時30分～4時45分（10月11日のみ3時15分終了）。
会場　土樋キャンパス4号館3階431教室
受講　無料。※お車でのご来場はご遠慮ください。
講義　9月27日「江戸時代の『道中記』をめぐって」難波信雄教授、「マンジュ・グルン満洲を旅した日本人」細谷良夫教授。10月4日「アメリカ西部の旅」森脇龍教授、「イギリス婦人の北日本紀行」榎森進教授、10月11日「古代地中海世界への旅」松本宣郎教授（東北大学文学研究科）
問い合せ先　東北文化研究所（☎022－264－6430／E-mail:tobun@staff.tohoku-gakuin.ac.jp）。

オープン・カレッジ「福祉社会論―希望と不安の中での戸惑い―」

日時　9月25日～11月27日の毎週木曜日、10回講演。午後6時30分～8時。
会場　土樋キャンパス8号館5階押川記念ホール
受講　どなたでも自由に受講できます。受講料は千五百円（講義報告集および郵送代を含む10講義分）。
申込・問い合わせ先　所定の申し込み用ハガキで社会福祉研究所（仙台市青葉区土樋一丁目3の1　☎022－264－6362／E-Mail：shafuku@sc.tohoku-gakuin.ac.jp）。
講義　9月25日開講式・「福祉国家の変容」関谷登教授、10月2日「だれもが安心して暮らせるまちづくりをめざして―ボランティア・市民活動の役割―」田村武暢（宮城県社会福祉協議会・みやぎボランティア総合センター所長）、10月9日「年金改革の行方―スウェーデン方式をめぐって―」阿部裕二（東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科教授）、10月16日「マルサスと救貧法」遠藤和朗教授、10月23日「地域福祉計画（策定）のもつ意味について考える」阿部重樹助教授、10月30日「被占領期日本の福祉改革」熊沢由美講師、11月6日「地域で活きる支援―障害という多様性の理解―」高橋壮(有)よこいしん代表取締役)、11月13日「現下の経済状態と勤労者福祉」齋藤義博教授、11月20日「聴覚障害の問題と個別ニーズに応じた対応―言語聴覚士の立場から―」森つくり（仙台医療福祉専門学校教員・言語聴覚士）、11月27日「子どもの情緒的虐待とその対策」増田周二教授・閉講式

教養学部教養講座「達人を科学する」

主催　宮城県教育委員会
主管　教養学部
開催日時・場所　全6回
(1)9月25日～10月30日（期間中の木曜日5回）18時～19時40分（100分）。会場　泉キャンパス2号館1階215番教室。
(2)10月18日(土)　15時～18時30分ベガルタ仙台試合観戦他。会場　仙台スタジアム他。
募集人員　50人。無料。
応募資格　原則として18歳以上の県民（ただし、6回すべてに参加できる方）。
講演内容
9月25日（開講式）「武道の達人を科学する―弓道通矢競技日本一への挑戦―」人間科学専攻　黒須憲助教授、10月2日「遊びの達人を科学する―けん玉遊びから見えてくる社会―」人間科学専攻　谷田部武男教授、10月9日「そば打ちの達人を科学する―そば打ちは創造である―」言語文化専攻　石川文康教授、10月18日（予定）「サッカーの達人を科学する―プロ選手のパフォーマンス―」人間科学専攻　松原悟助教授、10月23日「間合いの達人を科学する―相手との距離を測る奥行き知覚の妙―」人間科学専攻　櫻井研三教授、10月30日（閉校式）「エラーの達人を科学する―ヒューマンエラーと事故防止の心理学―」人間科学専攻　吉田信彌教授
問い合わせ先　泉キャンパス庶務係（☎022－375－1121／E-mailkenmin@staff.tohoku-gakuin.ac.jp）。宮城県教育庁生涯学習課（☎022－211－3652）。

（五頁へ続く）